



「生活満足度調査」実施の考えは

村岡 藤弥 議員

どのようにすべきか検討する
町長



町民の声を反映させる方策が必要

まちづくり座談会

総括は。

町長 5月から3月にわたり22か所を実施。廃校の活用をはじめとする多くの課題が提言され、今後の町政運営において大きな財産となった。

直ちにできる課題は何か
町長 進行中の流雪溝の整備や除雪の方法、婚活の取り組み、防災放送の再点検や整備だ。

町民の声をどう活かす。

町長 ①今年または来年度予算の中でできること。

②数年後までには、または実施の目的を考慮しながらこの数年の間に実施の方向性をつけることに分かれる。

複合施設の整備など非常に多くの財政支出を伴うものは、基金を積み立て備えなければならぬ。事業だが、課題を解決しながら計画的に進めていく。

座談会に出席する人は固定化している。より多くの町民の声を聞くためにアンケートを取ることも一つの手段だ。生活の満

足度を調査し「町民満足度」「役場の通信簿」をつけてはどうか。継続して実施することで課題や指針が見えてくる。

町長 アンケートなど調査をやらなければ町民の意識、声を聞くことができないと感じる。どういう形でどういう調査をするべきかこれから考える。

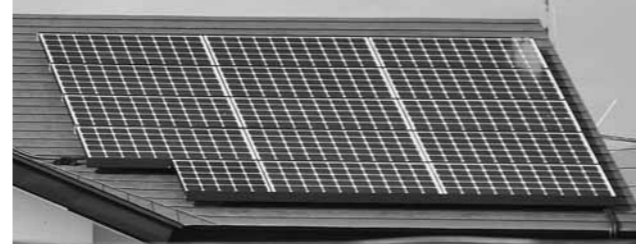
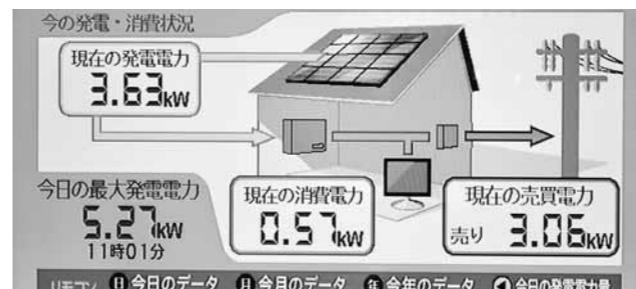
エネルギー対策は

再生可能エネルギー導入に対する町の考えは。

町長 取り組みの必要性は理解するが、雪などの自然環境を考慮しなければならぬ。県や他市町村の取り組み等を参考にしながら検討していく時期と考える。

民間も交え、雪国大石田「自然エネルギープロジェクトチーム」の組織化を図り、遊び心豊かに具現化を目指しては。

町長 同感であり、みんなとともに考えていく。



普及が期待される太陽光発電パネル

を施し14t車まで通行可能。

現在昭平橋は通学路として認められていない。何らかの対策を施し通学路として認められないか。

町長 橋が狭く高圧電線があり、高低差で見通しが悪いうえに通勤の車が多いため認めていない。中学校グラウンド交差点の道路横断が大変で、冬期間は更に道幅が狭くなる上に路面が凍るので通行には非常に危険だ。安全面を最優先に考えているのでご理解いただきたい。

駅前消費池は

町民の評判も芳しくない。利活用を講ずるべきだ。町長 施設を整備する場合、事故等の危険性が懸念されるので現状のまま管理するのが妥当だ。

駅は町の玄関である。交流人口の拡大を公約したが現状のままではいけない。町長 いいアイデアがあれば考える。

この他に過疎債繰り上げ償還に伴う損害金に対する町長の考え方を質問しました。



中学校グラウンドの機能が不充分だ

村形 昌一 議員

我々も非常に憂慮しているところだ
教育長



外野を抜けた打球は全てフリー

中学校グラウンド整備

ホームランフェンスがないため、対外試合はグラウンド特別ルールで行っている。より良い環境でゲームができるようホームランフェンスを設置する考えはないか。

教育長 センター方面はフェンスがないために150m×160m追いかける事になり試合や競技大会を行う上で問題がある。できるだけ早い時期に対応策を講じる。

昭平橋の危険対策

夜間、中学校グラウンドの照明が点灯されると逆光が発生し歩行者に危険が生じるのではないかと。町長 現状での対応策として必要個所に看板を設置し通行者に交通安全の注意喚起する以外にない。今後、教育委員会と十分協議した中で検討していく。

橋の強度はどうなのか。
建設課長 耐震補強工事



維新祭で初めて活用した消雪池